

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部保育課
評価対象期間	平成28年4月1日～令和2年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立八幡東さくら保育所	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市八幡東区祇園一丁目5番1号		
	設置目的	児童福祉法第39条に規定される保育所として、保育を必要とする乳児又は幼児を保育することを目的とする児童福祉施設である。		
利用料金制		<input checked="" type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制		
		インセンティブ制	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市福祉事業団		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号		
指定管理業務の内容		保育所の管理及び保育の実施。		
指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価 レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		43
(1) 施設の設置目的の達成 <ul style="list-style-type: none"> ① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。 ② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。 ③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。 ④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。 	35	4	28
[評価の理由、要因・原因分析] <p>① 指定管理業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育方針が分かりやすく明示され、通常保育のほか子育て支援の取組みなど、計画に基づいた保育所運営が行われている。 ・ 体力増進巡回指導員による体操教室に参加したり、ボランティア講師によるレクダンス教室を実施し、子どもの身体感覚の強化を図った。 ・ 3歳未満児クラスで育児担当保育を行い、一人一人の心の発達に応じてきめ細かな援助をすることで、子どもと保育士の安定した信頼関係を築くことに努めた。また、講師を招きスキルアップ研修を開催することで、参加した職員の育児担当保育についての理解を深める取組みを行った。 ・ 異文化に触れる機会の充実を図るため、外国人の講師を招いて、イベントやゲームを楽しむ「英語であそぼう」を実施し、生活発表会では英語を使つての発表を行った。 ・ 給食調理員とともに「味噌づくり」を体験し、出来た味噌を使った給食を食べたり、米作りにも挑戦するなど、日本の伝統文化を学びながら様々な視点で食育を推進している。 ・ 食物アレルギー疾患児の除去食については、保護者、調理員、所長、担当保育士、看護師で除去食会議を毎月実施したうえで、給食を提供している。 ・ 専門機関と連携し、障害児保育を始め多様なニーズに応える特別保育事業に取り組んでいる。また、全ての子どもが自分の持つ力を十分に発揮し、楽しく活動できる環境を作るため、専門機関と連携し、保育士の資質向上を図っている。 ・ 地域住民による「さくら子育てサポーター」が子どもたちの散歩の付き添いや制作活動の補助等の活動を行った。 			

月平均利用児童数 (人)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
実績	196	189	178	176	169

(定員：180人)

各行事の実施状況(回)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
園行事	32	35	37	41	36
地域活動	51	39	27	29	23
計	83	74	64	70	59

- ② 利用促進を目的としている施設ではないため、該当なし。
 ③ 該当なし。
 ④ 施設の性質上、保育所入所等については行政で決定するものであるため、該当なし。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	5	15
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

① 利用者の満足度

- ・保育内容についての利用者の満足度を問うアンケートでは、すべての項目の平均で96.6%という結果であり、保護者の満足度は高い。

項目(単位%)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
子どもの様子	97.6	98.1	100.0	95.9	100.0	98.5
情報提供	100.0	97.5	97.9	97.7	100.0	98.2
保育所の状況	97.2	93.4	93.0	95.8	98.1	95.0
安全管理、事故防止の取組み	96.8	94.9	95.1	93.4	96.6	95.0
全体平均	97.9	95.8	96.2	95.7	99.0	96.6

※平均値については、各項目の全設問の平均値を算出したもの。

② 利用者意見への対応、③ 苦情への対応

- ・保育所に対する満足度や思いを知るための「保護者アンケート」を実施している。
- ・保護者会と共催し、井戸端会議的なクラス別懇談会「さくら会」を開催し、保護者同士の交流

の場とした。また、在園児の父親、祖父等を対象とした「お父さんたちの会」の活動では、行事を通じて利用者の声を聴き、子育て支援へ意見を反映させている。

④ 情報提供

- ・毎月、保護者に向けて「給食だより」を発行し、食育に関する啓発を行った。
- ・保護者の一日保育士体験を通して、給食試食の機会に食に関する相談を受けるなど、食育の大切さを伝えたり、保護者同士で食に関する情報交換を行える場を設けた。

2 効率性の向上等に関する取組み	30		18
------------------	----	--	----

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

30	3	18
----	---	----

[評価の理由、要因・原因分析]

① 経費低減の取組み

- ・冷暖房の使用に当たっては温度調整の実施を徹底し、各部屋消灯、水道栓の確認等を心がけ、光熱水費節減に努めるなど、経費削減への取組みを積極的に行っている。

指定管理料(単位 千円)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
予算	7,484	7,767	7,767	7,767	7767
決算	7,474	7,856	7,557	7,579	7671

※特別保育事業にかかる費用は除く。

② 再委託の経費

- ・清掃、設備の保守点検業務など受託者において履行できない部分については再委託を行っているが、複数の業者の見積もりを徴したり、法人内の他の施設と一括契約したりするなど、経費の低減に向けた取組みを行っている。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

-	-	-
---	---	---

[評価の理由、要因・原因分析]

施設の性質上、施設の性質上、保育所への入所等については行政が決定し、保育料は国が定めた単価をもとに市が決定しているため、評価の対象としない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20		14
---------------------------	----	--	----

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管

10	4	8
----	---	---

理コストの水準、研修内容など)。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
<p>① 人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置基準に基づき、必要な保育士数が配置されている。 ・指定管理者である北九州市福祉事業団は八幡東さくら保育所の他に複数の認可保育所や緑地センターを運営しており、保育士不足にも対応できるよう、人員の確保に努めているほか、法人内で保育士の人事異動も行われている。 <p>② 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用年次研修や人権研修の他、保育所での公開保育、事業団保育所間での公開保育、自主研修プログラムなど、各種研修に参加した。 ・保育士の「人権意識」向上のため、人権啓発映画の視聴後に意見交換を実施したり、日ごろの教育姿勢を振り返るなど、職員の意識共有を図った。 <p>③ 地域協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の地域子育て支援センター2拠点（令和2年3月31日現在）のひとつとして、未就園の親子が自由に遊びに来ることができる場所、子育てに関する相談・支援を気軽に受けることができる場所として、地域における子育て支援の役割を担っている。子育て関連情報の提供、育児サークルのサポート、講習会の実施をさくら保育所キッズルームにおいて実施するだけでなく、公共施設に出向いて子育て個別相談事業を行ったり、幼児教室や親子あそび教室を開催したり、子育て支援の取組みを充実させている。 また、子育て支援ネットワーク推進委員会に参加し、子育て支援センターの立場から提案を行い、有効な支援につなげている。 ・地元小学生が園を訪れ、一日保育士の体験を行ったり、年長児が小学校を訪問して一日体験を行うなど、入学後の小学校生活をスムーズに行うことができるよう工夫した。 			
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	10	3	6
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
① 個人情報の保護			

・法人内の研修として個人情報漏えい防止研修を受講した。

② 平等利用、③公平選定

・入所児童の選定は行政が法に基づいて行うため、適切である。

④ 収支状況

・毎年、社会福祉施設に関する指導監査や指定管理施設のモニタリングを受けており、収支内容に不適切な点は認められない。

⑤ 安全対策、⑥ 危機管理体制、⑦ 非常時の対応

・不審者侵入訓練、市民センターとの合同防災訓練（消火、通報、避難誘導等）を行うなど、子どもの安全確保に努めている。

・「施設安全点検シート」に沿って、危険箇所の把握に努めている。

・小さなけがでも危機感を持ち、ヒヤリ・ハット報告書を記入して振り返りを行うとともに、職員全員で共有し、再発防止に努めた。

・日中の玄関施錠や防犯ベルの動作確認、来所者の腕章着用など、不審者侵入防止対策を行った。

【総合評価】

合計得点	75	評価ランク	B
これまでの保育所運営に基づく知識や経験を生かした保育を行っている。 施設外で行われる各種研修に職員を積極的に参加させるとともに、保育士の資質向上を目的とした職員会議や研修を定期的に行い、子どもたちにより良い保育サービスを提供するための努力を行っている。その成果として、利用者アンケートでも満足度が高い結果となっている。 地域や保護者に対する開かれた子育て支援、ボランティアを取り入れた保育事業など、地域交流事業にも独自性があり、工夫した保育所運営がなされている。			

[北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見]

・より適切な評価を行うために、アンケート結果を反映した改善策の部分や、「大変満足」と「満足」の比率で評価を行うなど、今後に向けて検討して頂きたい。

・平等利用や公平選定については、指定管理者の努力部分について評価を行うなど、今後に向けて検討して頂きたい。

・人材確保で努力や工夫している部分なども評価を行うなど、今後に向けて検討して頂きたい。